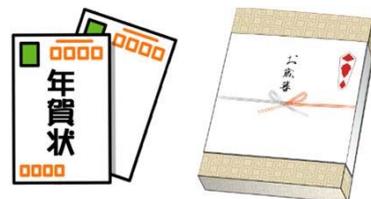


Akatake Times

Vol. 3
(通算 第156号)

今年も残すところあと2ヶ月。
何かと慌ただしい年末年始が近づいてきました。
年賀状、お歳暮、お年賀、お年玉・・・準備するものも多いですね。
間際であわてることのないように、早めの準備をしていきましょう。



『松代星峠の棚田』

『今月の表紙』

くびき野パノラマ街道(広域農道)を走りつなぎ、やっとたどり着いた星峠。
ここは日本の原風景が色濃く残る「松代星峠の棚田」。
その地形ゆえ、その多くを人手に頼らざるを得ない大変手のかかるであろう農耕地。
人工物ではあるけれども、そこには心温まる美しい景色が広がっていました。



撮影日時: 2014年10月18日 撮影場所: 新潟県十日町市(旧: 松代町) 撮影と文: 小針さん

もっと日々成長したい



“行く秋のなほ頼もしや青蜜柑”[松尾芭蕉]
紅く色づこうとした景色や朽ちていく景色にあって、蜜柑の実だけが青々としてまだ夏の気を残している。それが頼もしくあり、あなたの旅も末頼もしい旅になるはずですよ、という餞別吟との解説があります。

また今年も、違わず過ごしやすい季節、秋がやってきました。季節の変化は私たちにさまざまな感性を呼び起こしてくれます。

今期も早2ヶ月が経過しました。いつも言うように、過ぎ去ればあっという間ですが、これからの時間は十分あります。後悔しないように計画的に目標に向かっていきましょう。

【無関心でいるなかれ】

政界は今、混沌としています。

小淵経済産業相の政治資金の不明朗な収支報告問題、松島法務相が“うちわの話”でそれぞれ辞任しました。さらには、小淵氏の後任である宮沢経済産業相や塩崎厚生労働相の利益相反問題、江渡防衛相の政治資金収支報告の訂正などなど。一体どうなっているのかと、一国民として嘆かざるを得ません。問題の追及やら言い訳やらに喧々囂々です。マスコミがこぞって煽り立てもします。国会議員としてやらなければならない、やってほしいことが停滞し、時間と費用とも多大な損失となっています。

議員や大臣になろうとするならまず自分の問題点を探ってみるべきで、他人につつかれて初めて実態を知るなどは論外でありましょう。その稚拙さにあきれてしまうのは私だけではないでしょう。ますます加速する政治離れが心配です。

とか何とかいっても、つまるところ我々国民がもっと声を大にして“喝！”と叫ばなければならないということでしょう。すなわち、私たち国民の責任であることを認識しなければならないということ、見えないところで政治家にブツブツ言うことは天に向かってつばを吐いているようなもの。

しっかりせよ！ 赤堀くん！

【癖を直す】

「無くて七癖」ということわざがあります。

癖とは、ある人が無意識にしばしば行うちょっとした動作のことをいうようです。

やらなくてはいけないことをだらだら先延ばしする癖が目立つ私。社内報の原稿書きを、ここ2年ほど前から締め切りを過ぎてから仕上げるという癖がついてしまいました。これを癖と言うのかは分かりませんが、“怠け癖”の一つに違いないでしょう。以前は徹夜してでも書き上げたものですが、どうもいけません。

以前はさほどではありませんでしたが、書くことが苦手になりつつあることは間違いありません。何故か？と自身に問い詰めると、癖の連続、慣れ、使命感の薄れ、計画性がない、疲れる、次から次へとやることが出てくる、優先順位・・・等々、言い訳が出てきます。全く困ったものです。その言い訳の中から原因らしきものを拾い出すと、結局癖が連続化して習慣になってしまうのではないかと考えています。

これを打破するには、区切りをつけることではないでしょうか。例えば原稿を書き上げた時、癖の連続化を断ち切るために次の原稿のための計画的な備えに入ることが“肝要”であると思います。

さあ、ここまで主張すれば、次回は締め切り後に書き上げることはなかろうと思っています。自分自身を“寛容”しないで癖を断ち切りたいと決意しています。



【習慣を打破しよう】

私たちは、区切りとして1ヶ月、1週間、1日、1時間という単位で計画・行動することを概ね常としています。会社関係は1ヶ月単位がどうも習慣として定着している感があります。

意識を変え！ やり方を変え！ 業績を変えよう！

このスローガンで、まず意識を変えることが大事であり、1ヶ月単位を打破することにあります。まずは1週間単位とし、更に1日単位に落とし込むことです。これは、受注・売上に関わることだけでなく、5S活動など全般に関わることであります。公私共に習慣を打ち破ることを習慣づけましょう。

ご安全に！



代表取締役社長 赤堀 肇紀

粉体エンジニア早期養成講座

10月16日～17日に、日本粉体工業技術協会殿主催のセミナー「**粉体エンジニア早期養成講座**」がニューウェルサンピア沼津、及び当社にて開催されました。

【**粉体ハンドリングⅡ(プラント・貯槽)**】と銘打たれた講座で、10名の受講者に対し、座学・実習・演習を2日間かけて行うという内容でした。

1日目の座学では、秋元常務が講師となり「**貯槽、プロセスの設計**」という議題について教鞭をふるいました。

2日目の午前中まではニューウェルサンピア沼津にて座学を行い、午後からは当社へ移動しての実習・演習でした。

この実習にあたっては、弊社技術部員が「**せん断試験機を用いた、粉体内部摩擦と壁面摩擦の計測**」、及び「**粉体物性試験機を用いた、安息角とかさ密度の計測**」についてそれぞれ受講者にレクチャーを行いました。

この粉体エンジニア早期養成講座は2009年にも当社で開催されており、秋元常務に至っては、他の科目も含め毎年講師を勤められています。

今回我々は講師の立場だった訳ですが、教えることで学んだことも多かったはずで、正に『共育』と言えるものでしょう。こうした刺激は、どんどん当社の糧にしていきたいものですね。



協立グループ展 2014 in 浜松

展示会自体は制御・システム関係が多く、機械に興味を示す方は多くない印象でした。そんな中でも2日間を通じ、約30名の来場を頂くことが出来ました。

来場頂いた方は、計画中の御客様や今までお付き合いのあるお客様、新規のお客様と様々で、さらに弊社の名前を覚えて頂く良い機会になったと感じています。

ここで出会ったお客様を大切に、今後の営業活動に生かしていきたいと思っております。



ISO14001内部監査員講習

10月9日～10日に、**ISO14001内部監査員講習**が当社にて行なわれました。2月の「品質」に関する講習に引き続き、今回は「環境」に関する内部監査員講習でした。

もちろん監査員のレベルアップが主目的ですが、今回のもう一つの目的は「環境管理に対する理解度の向上」が狙いでした。

座学・小テスト・グループ演習・模擬監査と盛りだくさんの講習であり、内容も簡単ではありませんでしたが、得られたものは多かったと感じます。

来年にはISO9001,14001ともに規格の改訂が施行されるとのことなので、この講習を活かして社内基準の見直しにあたりたいと思っております。

